

第26期 幕別町農業委員

7月21日、新たに選出された23人の農業委員の皆さんに、飯田町長から辞令が交付されました。任期は、令和11年7月19日までの3年間となっています。

辞令交付後に開催された第1回総会で、会長に中村富士男委員（日新：4期目）、会長職務代理者に松本誠委員（相川：4期目）が選出され新体制がスタートしました。

就任のあいさつ

幕別町農業委員会

会長 中村 富士男



7月21日に行われた第一回農業委員会総会において、引き続き会長の職を仰せつかりました。これまで1期3年間、不慣れながら着実に会長職を努めて参りましたが、再びその重責を担うことに身を引き締めるとともに、これまでの経験を活かし農業委員会を代表する者として、その職責を果たせるよう全力で取り組んで参ります。

現在の十勝農業を取り巻く環境は、農畜産物取扱高では過去最高を毎年更新するという勢いを見せる一方で、資材価格の高騰、気候変動への対応、担い手不足や高齢化、農業労働力の減少など多くの課題が残されています。

これら課題に対し、私たち農業委員会が果たすべき役割として、優良農地の確保や遊休農地を作らないうことはもちろん、確実に次世代へと継承できる基盤をつくり、誰もが意欲をもって農業に邁進できる地域でいられるように努めさせていただきます。

これからも本町農業の更なる振興・発展のため、最善の努力を尽くしてまいりますので、今後とも皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

幕別町農業委員会

会長職務代理者

松本 誠



この度の農業委員会改選におきまして、私自身4期目の農業委員に選出され、農業委員会の構成では第25期に続いて会長職務代理者に再任されました。

会長を補佐する立場として、また、委員の取りまとめ役として、これからの3年間、その責務を果たせるよう努力してまいります。

さて、十勝は日本最大の食料供給基地と称されていますが、今、大きな変革期にあるのではと感じています。

畑作における輪作体系は維持しつつも、資材価格の高騰や労働力不足への対応、気候変動への対応やスマート農業を取り入れるなど、先進地だからこそ新たな技術や知識を早期に取り入れることが、農地と農業者を守ることに繋がると考えているところであります。

農業委員会に課せられた使命と役割を認識し、農業委員が一丸となって取り組み、本町の農業振興に寄与してまいりますので、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。